

旭化成は、  
光をあてるだけで  
殺菌できる  
深紫外線LEDを開発。  
飲料水での  
実用化が進んでいます。

原因は、汚染された水を使わざるを得ない生活環境にある。

浄水場がない。下水道がない。しかしそんなことを理由に、

人が命を落としていいわけがない。

旭化成は、殺菌できる光、深紫外線を発光するLEDを開発した。

私たちの目に見える光の波長は400～780nmだが、

深紫外線は200～280nm。

この波長の光が細菌のDNAに直接働き、不活性化させてゆく。

これまで殺菌には水銀ランプが使われてきたが、

このLEDはそれ以上の効果を上げながら、環境への負荷がなく、

化学薬品も使わず、そして省エネ、省スペースを実現する。

そのため大規模な投資を行わなくても、

生活用水を清潔に変えられる可能性を持っている。

水を守ることは、命を守ること。深紫外線LEDの見えない光が、

水と子どもたちの未来を照らすことを願っている。

昨日まで世界になかったもの「深紫外線LED」。

詳しくは [www.asahi-kasei.co.jp](http://www.asahi-kasei.co.jp)

昨日まで世界になかったものを。

AsahiKASEI